

5月4日の降雹被害に伴う技術対策について

令和元年5月9日
埼玉県農林部

ほうれんそう

- 1 葉の損傷が著しく回復が困難と判断される場合は、播き直しを行う。播き直しの際は、生育ステージに応じて元肥の施肥量を調整する。
 - ・本葉4，5枚程度の株を播き直しする場合、施肥は行わない。
 - ・本葉5，6枚～収穫直前までの株を播き直しする場合は、通常の1/2で施肥を行い、発芽後生育状況に応じて追肥を行う。
- 2 播き直しをしない場合は、生育の回復を図るために速効性肥料を追肥(窒素成分1kg/10a)する。べと病の発生が懸念されるので、薬剤防除を行う。

【施肥例】

燐硝安加里1号(15-15-12) 7kg/10a

【防除例】

ランマンフロアブル 1000～1500倍 100～300ℓ/10a (収穫3日前まで、3回以内)
Zボルドー 500倍 100～300ℓ/10a (－、－)

えだまめ

- 1 本葉の損傷が著しく回復が困難と判断される場合は、植え直しまたは直播きを行う。植え直しまたは直播きを行う際は、生育ステージに応じて元肥の施肥量を調整する。
 - ・定植直後の株を植え直しする場合は、施肥は行わない。
 - ・活着後～開花時期までの株を植え直しする場合は、通常の1/2で施肥を行い、活着後生育状況に応じて追肥を行う。
- 2 植え直しまたは直播きを行わない場合は、生育の回復を図るために速効性肥料を追肥(窒素成分1kg/10a)する。べと病等の発生が懸念されるので、薬剤防除を行う。

【施肥例】

燐硝安加里1号(15-15-12) 7kg/10a

【防除例】

アミスター20フロアブル 2000倍 100～300ℓ/10a (収穫前日まで、3回以内)

<農薬使用上の注意事項>

- 1 農薬は、ラベルの記載内容を確認し、適正に使用してください。
- 2 農薬の最新情報は、埼玉県農産物安全課ホームページをご覧ください。